

報道機関 各位

令和5年4月11日（火）

【照会先】鳥羽市観光商工課 担当：村田、カゾ
三重県鳥羽市鳥羽3-1-1

TEL 0599-25-1157 fax 0599-25-1159

フランスをメインターゲットとした鳥羽市のプロモーション動画の公開について

Fantastique Toba(ファンタスティック鳥羽)

～ 鳥羽ならではの「自然」と「人」の共生～

鳥羽市では、令和元年度からフランスをターゲットとした情報発信や国際交流を行っています。このたび、鳥羽を紹介する動画を作成し、動画配信サイトにて公開いたしましたので、プレスリリースさせていただきます。

動画内容は、本市観光商工課に所属する国際交流員カゾ・ポーリン（フランス人）がナレーターとナレーションを務めており、海女文化をはじめとして鳥羽の地域資源や魅力に直接触れたり、自然と向き合い、地域や資源、伝統を守り伝える人々に会っていく内容となっています。ナレーションはすべてフランス語となっています。

本動画は鳥羽市観光協会の YouTube チャンネルにおいて配信を行っており、動画を通じてフランスをはじめとして国内外に鳥羽の魅力を広く発信するとともに、令和5年度にはフランス現地での鳥羽の PR を予定していることから、鳥羽の概要説明の際の紹介動画としても活用していく予定です。



動画の主なシーン切り抜き（次ページに動画詳細情報）



鳥羽市立海の博物館



鳥羽市水産研究所



牡蠣養殖



ミキモト真珠島



海女小屋体験



答志島

動画「Fantastique Toba」概要一覧表

| 動画概要 | 動画①ロングバージョン | 動画②ショートバージョン |
|--------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 動画タイトル | Fantastique Toba | Fantastique Toba(version courte) |
| 制作 | 鳥羽市観光商工課観光係 | |
| 動画制作の目的 | <ul style="list-style-type: none"> ・フランスをメインターゲットに鳥羽が古くから持つ海女文化などの漁村文化や歴史文化、伊勢志摩国立公園ならではの自然と人の共存など鳥羽だからこそのオーセンティック(本物、本質的)な地域の魅力を伝える。 ・動画の発信を通じて、世界中の持続可能な観光地づくりを目指す。 | |
| 国際交流員カズ・ポーリンの視点と動画のポイント | <p>日本を旅行するフランス人観光客は、リラックスしたり、おいしいものを食べたりするだけではなく、日本の文化にとっても興味を持っています。また、日本の独自の文化を理解したいと思っており、その文化が豊かでより複雑であればあるほど魅力的であると感じます。</p> <p>また、フランス人が旅行の際、訪問先に求める経験は、誠実でオーセンティックな意味のある経験です。</p> <p>以上のことをふまえ、この動画ではフランス人が魅力と感じる海女文化や真珠など、鳥羽ならではの魅力を紹介しています。</p> | |
| 言語(ナレーション) | フランス語 | |
| 動画公開日 | 令和5年3月31日 | |
| 動画再生時間 | 10:57 | 0:56 |
| 動画内容 | 00:00 オープニング 00:56 鳥羽市立海の博物館 01:51 鳥羽市水産研究所 03:01 牡蠣養殖 04:29 ミキモト真珠島 05:43 海女小屋体験 06:49 答志島 08:40 海女とナレーターとの対談 10:25 エンディング | 動画①の内容をダイジェスト形式で短く紹介した動画 |
| 動画を公開しているYouTubeチャンネル | 鳥羽市観光協会 | |
| 動画のサムネイル ※サムネイル画像データが必要な場合は観光商工課観光係へメールをお願いします(kanko@city.toba.lg.jp) |  |  |
| YouTube の URL | https://youtu.be/6BeYLMHt98E  | https://youtu.be/44KTXiU5Yk0  |

(参考情報① 三重県鳥羽市の紹介)

三重県鳥羽市は、三重県の東端の伊勢志摩地域内に位置し、伊勢湾に面した漁業と観光が盛んなまちです。鳥羽市は、女性が素潜りでアワビなどの水産資源を捕る「海女（あま）」が日本一多く、海女文化は約 2000 年以上もの長い歴史を持つことから、平成 29 年には国の重要無形民俗文化財の指定、令和元年度には日本遺産の指定を受けるなど、歴史文化的な価値が認められており、地域を象徴する存在となっています。

平成 28 年には G7 伊勢志摩サミットが伊勢志摩地域を中心に開催されました。鳥羽市においては、真珠養殖の発祥地であるミキモト真珠島を会場に配偶者プログラムが実施されるなど、海女文化を通じて鳥羽の魅力を世界中に発信しました。

また、鳥羽市観光統計資料においてコロナ前の令和元年の外国人入込客数データでは、台湾、香港、中国のアジアに続いてフランスからの来訪が多いことが特徴としてあげられます。

(参考情報② フランスへの情報発信や交流の経緯や目的)

②-1 フランス現地での海女文化情報発信など (令和元年度)

令和元年 10 月 10 日に鳥羽市長や海女がフランス現地へ訪問し、パリ日本文化会館にて「奇跡の海 La mer miraculeuse」座談会を開催し、PR しました。海女・鳥羽市の認知度向上及び今後のインバウンドにつなげることができました (右写真)。

また、フランス・ドイツ公営放送「アルテ」においてドキュメント番組を制作し、放映しました。



②-2 国際交流員の配属と活動 (令和3年度)

令和 3 年 10 月には鳥羽市として初めてとなる国際交流員 (カゾ ポーリン) がフランスから着任しました。今後のインバウンドの回復を見据え、鳥羽の魅力の情報発信を開始しています。国際交流員が着任後、コロナ禍ではあるものの、鳥羽についての情報発信やフランスとの関係性づくりを行っています。



具体的な活動としては、SDGs をテーマにフランスの自治体とのオンラインによるセミナーの開催 (11 月 25 日) や、在京都フランス総領事ジュール・イルマン氏の来訪時に鳥羽の魅力を紹介しました (令和 4 年 3 月 15 日)。

②-3 アンスティチュ・フランセ関西との連携と海外自治体幹部交流協力セミナー 2022 の開催 (令和 4 年度)

アンスティチュ・フランセ関西 - 京都で 6 月 26 日に開催された屋外イベント「ル・マルシェ」において鳥羽市として初出展し、海藻の販売などを通じて交流や情報発信を行っていました。また、8 月 27 日から 9 月 24 日には、現役海女でフォトグラファーの大野愛子さんの写真展「海女の普遍的世界」を開催し、海女文化の発信や交流を行いました。



11 月 9 日~13 日には、鳥羽市においてフランスとベルギーから自治体幹部職員を招へいし、「海外自治体幹部交流協力セミナー 2022 (主催:自治体国際化協会)」を開催し、視察や自治体間の交流・地域課題について協議を行いました。

令和 5 年 3 月 20 日にはフランス語やフランスの文化を知る「フランコフォニー月間 2023 (アンスティチュ・フランセ関西主催)」の位置づけで、国際交流員のカゾが講師となり、市内小学校で身近にあるフランス語やフランスの子ども遊びについて授業を行いました。

(参考情報③ フランスの方にとっての海女文化の魅力)

フランス人は 誰も行かないところへ行きたがる傾向があり、海女文化は彼らにとって日本の文化の中で非常に特殊なものです。伊勢志摩では、この大変な仕事を女性、特に年配の女性が担っており、日本女性のステレオタイプなイメージとは対照的な強い個性を持った女性としての憧れがあります。

もう一つの魅力は、海女漁が 2000 年の歴史を持つ伝統技術であり、代々受け継がれ、今なお守られていることにあります。多くの観光客と同様にフランス人も、こうした環境に配慮した伝統的な技術に敏感です。

他には、フリーダイビングの技術や日本の海の文化も、自国と比較したい、学びたいという好奇心でフランス人を惹きつけています。例えば、ジャック・マイヨールというフランスのフリーダイビングの選手が、フリーダイビングの記録を塗り替えました。あまり知られていませんが、彼は青少年期、佐賀県の海女さんのもとでダイビングを学びました。そのおかげで、彼は自分のテクニックを完成させることができたのです。

最後に、フランス人は、地球温暖化や後継者不足など、現在の海女が直面している課題を知りたがっています。